



●● 高齢者・障害者の活躍について ●●



女性に続いて、高齢者の活躍についても教えてほしいな。

イメージや若者の定着率、少子高齢化、いろいろな理由から人材不足となっている建設業界。高齢者の貴重な人材活用も大きな課題になっているね。



高齢者が建設業で活躍できる場はあるの？

もちろん！建設に関わる高齢者といえば、マンション管理やビルメンテナンスを思い浮かべると思うけど、ほかにも活躍しているよ。65歳までの高齢者雇用確保義務化だけでなく、定年制が無く、70歳以上で働いている方も非常に多いんだ。特に職人については、若い世代に技術を継承していくという大きな役割があるからね。未来の日本のためにも、大切なんだ。建設業以外の職業経験も企業側の工夫次第で生かすこともできる。まちをつくるということは、ニッポンを創るということだからね。



障害者はどうかな？

実際にCADなどでも活躍されているよ。企業側は健常者と同様にその人がどれだけ真摯（しんし）に働くかを重視しているんだ。また、障害者だからこの仕事は無理だという考え方ではなくて、障害の部位によって、こんな仕事ならできるんじゃないかと、新しい仕事を作り出す工夫をしている企業も多いよ。企業と障害者がお互いの認識を深めることで、歩み寄り、マッチングが図れるんだ。



高齢者や障害者の活躍は建設業にも必要だね。

人材不足社会の中、高齢者や障害者が生き生きと活躍することで、これからの建設業が発展していくと思うよ。未来に向けた建設業の工夫や魅力についてお話する前に、今までの10回の連載を振り返ってみましょう！

